

平成 22 年度京都府立久美浜高等学校学校経営計画（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>歴史と伝統を踏まえ、校訓「意欲、克己、創造」の精神を生かし、地域の期待に応える教育を推進する。</p> <p>1 生きる力の育成と希望進路の実現</p> <p>2 総合学科及び小規模校の特色を最大限に生かしたきめ細かい指導</p> <p>3 生産科学系列及び福祉系列における専門教育の充実</p> <p>4 学校力の向上</p> <p>5 地域と連携した教育の推進</p>	<p>1 成果</p> <p>(1) 地域や関連団体との連携、選手及びボランティア生徒の活躍による全国高校総体カヌー競技大会の成功</p> <p>(2) 毎月の全校集会実施や携帯電話の指導等攻めの指導、組織的対応による規範意識の向上、マナー改善</p> <p>(3) 全教科年 2 回の授業公開や生徒授業評価の結果に基づく授業改善の実施、情報共有、意思統一のための教科会議の定例化と年度当初の授業確認事項の徹底</p> <p>(4) 厳しい求人状況下における内定率の確保、生徒・保護者の期待する進路実現に向けた補習、模擬面接、個別面談等、学年に応じた指導の実施</p> <p>(5) 保健学習の充実と教育相談会議、スクールカウンセラーとの連携による早期対応、研修会による特別支援教育に係る共通理解の促進</p> <p>(6) P T A と連携した新事業の実施（地域懇談会等）</p> <p>(7) 公共図書館との連携を含む図書館活動の充実と教科関連図書利用の増加</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 校内研修会や外部評価に基づく久美浜高校の将来ビジョンの構築</p> <p>(2) 学習習慣の定着や規範意識の向上と関連させた P T A 活動の活性化</p> <p>(3) 組織的対応に基づく生徒指導の充実と生徒の自主活動やボランティア活動の推進</p> <p>(4) 教育相談活動、特別支援教育の充実に向けたコーディネーターの活用やスクールカウンセラー、関連機関との連携、校内体制・教職員研修の充実</p> <p>(5) 言語活動の充実や低学年からの進路意識の向上を図るとともに学習習慣の定着や意欲を引き出す指導方法の改善</p> <p>(6) 広報の適期発信と内容の充実による広報活動の活性化</p>	<p>1 《学習指導目標》</p> <p>『学習意欲を高める指導の充実を図る。』</p> <p>(1) 学習事項の精選とさらなる授業改善を行うとともに、家庭学習の習慣を確立させ、基礎学力の充実を目指す。</p> <p>(2) 教職員間の連携を図り、授業における指導を徹底する中で、規律ある学習環境を確保していく。</p> <p>2 《生徒指導目標》</p> <p>『規範意識、マナーを高める指導の充実を図る。』</p> <p>『特別活動、部活動等の充実を図る。』</p> <p>(1) 生徒と教員間の信頼関係を築き、生徒理解に努める。</p> <p>(2) 生徒会の活動をより充実させ、特別活動やボランティア活動を活性化する。</p> <p>(3) 教員が積極的に部活動指導に努め、生徒との関わりを強める。</p> <p>3 《進路指導目標》</p> <p>『自ら進んで進路を開拓する意欲や意志をはぐくむ。』</p> <p>個々の生徒や保護者の進路上の課題を解決するため、きめ細かい援助を行う。</p> <p>4 《学校経営》</p> <p>『学校の将来ビジョンを具体化する。』</p> <p>総合学科の歩みを総括するとともに、これまでの調査や検討内容に基づいて今後の構想を具体化する。</p>

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	本校の将来構想の取りまとめ	検討会議の計画的な実施やメンバーの充実により年度内に具体策をまとめる。		
	分掌・教科の連携と情報共有、朝読書の推進	分掌・教科会議の定期的な実施を促し、連携や意思統一を図るとともに、朝読書を推進する。		
家庭・地域との連携	積極的な働きかけによる学校理解の促進	出前の授業や部活動指導、部活動を積極的に行う。 P T A 地区懇談会の開催等の連携や積極的で多様な広報活動により、学校の理解を図るとともに中学生募集に繋げる。		
P T A 活動	役員会、行事の精選	役員の負担を軽減し、一方達成感のある行事を工夫する。		
	地区懇談会の開催	昨年度実績を上回る会場数、内容で実施する。		
学校図書	読書意欲の喚起	朝読書の通年実施に対応する取組を行い、朝読書の定着させる。		
	生徒、教職員への資料・情報の提供	公共図書館との連携により提供量・内容を充実させる。 各種コンクール等の紹介をする。		
広 報	久美高だよりの発行、学校情報メールの配信	久美高だよりを年間5回発行する。 学校情報メールは月2回をベースに配信する。		
	ホームページの更新	校内からの情報の提供を受け、継続して更新ができるように取り組む。		
事 務 部	教育環境の整備	施設設備の改善と不用品の廃棄等環境整備に努める。		
	親切、丁寧な窓口業務の遂行	電話・来客等への親切、丁寧な対応に心がける。		
教育課程	新学習指導要領を踏まえた教育課程の編成	新学習指導要領の先行実施に関わる部分で、本校の教育課程に生かせる内容を検討し、平成23年度教育課程を編成する。		
学習指導	基礎学力の充実のための授業改善と生徒の学習意欲の喚起	生活実態調査、授業評価のアンケート等を通して生徒の実態を把握するとともに、授業交流を積極的に行う。		
	授業における指導を徹底させた規律ある学習環境の確立	毎日の朝読書を活用するとともに、教員間で指導事項を確認し、統一した指導を行う。		
生徒指導	校則を守らせ、規範意識やマナーを高める指導の充実	身だしなみを整えさせる指導に力を入れるとともに、公共マナーを高めるために、駅などの巡回指導を継続して実施する。		
	問題行動を未然に防ぐ取り組みを実施	日々の授業で生徒観察をしっかりとするとともに、週に1回、生徒実態調査を実施し、問題行動の早期発見・指導に努める。		
特別活動・部活動	部活動の活性化	加入生徒を増やし、積極的な活動を行うとともに、全国レベルの大会での入賞を目指す。		
	生徒会活動の活性化	生徒会の自主的な活動を支援し、学校祭などの生徒会行事の成功を目指す。		

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
進路指導	生徒の希望進路実現のための個別指導の充実	生徒個々の課題に応じて個別面談を積極的に実施する。		
	生徒が自ら進んで進路を考えるための働きかけ	進路マップの事前・事後指導の実施 生徒に向けて進路に関する情報発信を活発に行う。		
健康・安全教育	校内美化活動と環境美化の啓発	校舎内外の汚れ、乱れは心の乱れを誘う。美化に取り組む。		
	教育相談会議（教育相談小会議）の充実	速やかに生徒の状況を把握し、スクールカウンセラー及び専門機関の援助を得た教育相談を行う。		
人権教育	人権教育会議の開催	各学年と連携して、各学年学期に1回の人権学習を実施する。		
1年	高校生として正しいマナーの定着	正しいマナーを身に付け、規範意識を高める指導を行う。特に、あいさつ、身だしなみ指導を強化する。		
	部活動やボランティア活動に対する積極的な参加	各種活動に積極的に参加できるよう、呼びかけ等加入を促進する。		
2年	高校生としてのマナーの向上	SHRや学年集会などを活用し、身だしなみやマナーの向上・定着に努める。		
	積極的な行動と協調性のある集団作りの推進	部活動や学校行事の取組に積極的に参加させ、協調性を身に付けさせ、達成感を体現させる。		
3年	希望進路の実現に向けた着実な取組の実施	総合的な学習の時間を活用し、希望進路に応じた指導を推進する。		
	社会人として通用し得る節度ある行動の推進	日常的に模擬面接指導を行う。		